

# 平成29年度 事務事業評価シート

## 基本情報

事業コード	97			事務事業名 (予算事業名)	人権相談事業 (人権相談事業)			
予算科目	会計	1	款	15	項	10	目	50

## 計画 (Plan)

計画体系	基本計画	2	誇り ふるさとの豊かさを守り、愛するまち	根拠	法令(国)	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
	政策	6	多様な交流によりふるさとへの愛情と誇りを育てる		法令(県)	
	施策	26	交流を通じた市民相互の連帯感の醸成		市条例	上天草市人権擁護に関する条例
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		基本的人権の享有について規定された日本国憲法の理念に基づき、部落差別をはじめ、障害、性別による差別などあらゆる差別をなくし、人権擁護の意識を高め、平和で明るい地域社会をつくるため。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権相談への対応</li> <li>・人権擁護についての啓発活動</li> </ul>				
対象者 (誰に対して) …指標②		市民				
手段・実施方法 (どのようにするか)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特設人権相談所の開設 (9月・12月)</li> <li>・人権週間 (12月4日～10日) 及び社会を明るくする運動強調月間 (7月1日～7月31日) における啓発活動</li> <li>・社会を明るくする運動推進大会の開催</li> </ul>				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		一人ひとりの人権が尊重され、安全・安心で暮らしやすい社会になる。				

## 実施 (Do)

指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	10	10	10	10	0
		人権相談所の開設数	回	実績値	10	9	9	0	0
	②	活動指標イ	単位	目標値	300	300	300	0	0
		社会を明るくする運動推進大会の参加者数	人	実績値	270	278	339	0	0
	③	対象指標ア	単位	目標値	30,000	30,000	30,000	27,564	26,887
		人口	人	実績値	28,851	28,327	28,257	0	0
	④	対象指標イ	単位	目標値					
		実績値							
	⑤	成果指標ア	単位	目標値	50	50	50	55	0
		基本的人権が守られていると思う人	%	実績値	52.7	46.1	51.8	0	0
⑥	成果指標イ	単位	目標値						
	実績値								
⑦	上位成果指標ア	単位	目標値						
	実績値								
⑧	上位成果指標イ	単位	目標値						
	実績値								
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円		166			
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	722	719	854	714	
	事業費計(A)			千円	722	885	854	714	0
	人件費	正規職員従業者人数	人	1	1	0	0	0	
		延べ業務時間数	時間	400	400	0	400	0	
		人件費計(B)	千円	1,600	1,600	0	1,600	0	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	2,322	2,485	854	2,314	0

事務事業名	人権相談事業	部	市民生活部	課	市民課	係	市民係
-------	--------	---	-------	---	-----	---	-----

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 すべての人が暮らしやすい社会をつくる。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 日本国憲法に規定されている基本的人権を守るため。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 全市民を対象とすべき。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 今後、更なる啓発活動が必要。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 基本的人権が守られない恐れがある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 教育委員会事務局の人権教育事業と統合できるのではないかと考える。
		<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 今後、事業内容をさらに充実させていく必要があり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 後、事業内容をさらに充実させていく必要があり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者負担はない。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）

多様化する人権問題に対し、市民への周知及び啓発の強化が必要である。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
教育委員会事務局の人権教育事業と統合することで、さらに充実した啓発活動等が行えるのではないか。			削減	維持	増加
向上	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
低下	<input type="checkbox"/>				

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

職員数が削減される中、類似の事務については統廃合した方が効率的であると考えます。

# 平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	636			事務事業名 (予算事業名)	男女共同参画社会推進事業 (人権男女共同参画推進事業)				
予算科目	会計	1	款	15	項	10	目	50	

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	2	誇り ふるさとの豊かさを守り、愛するまち				根拠	法令(国)	男女共同参画社会基本法	
	政策	6	多様な交流によりふるさとへの愛情と誇りを育てる					法令(県)	熊本県男女共同参画推進条例	
	施策	26	交流を通じた市民相互の連帯感の醸成					市条例	上天草市男女共同参画社会推進条例	
事業開始		平成17年度				その他				
目的・目標 (何のために)		男女がお互いの人権を尊重し、あらゆる分野において対等に協力し責任と喜びを分かち合い、性別に関係なく個性と能力を発揮することができる社会の実現を目指すため。								
事務事業概要 (どのようなことを)		男女共同参画社会の実現に向けての啓発活動 …指標①								
対象者 (誰に対して)		市民 …指標②								
手段・実施方法 (どのようにするか)		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画週間 (国：6月23日～29日、市：1月24日～30日)における啓発活動</li> <li>男女共同参画フォーラムの開催</li> <li>男女共同参画推進計画の進捗管理</li> <li>男女共同参画社会推進会議、推進審議会での意見聴取</li> </ul>								
期待される (見込まれる) 成果 (効果)		男性であることや女性であることに関わらず「人」として対等に暮らしていける社会の実現 …指標③④								

実施 (Do)										
総投入量	指標 / 年度			平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (予算)	平成31年度 (予算)		
		①	活動指標ア	単位	目標値	30	30	30	20	0
			男女共同参画社会推進審議会出席者数	人	実績値	15	14	9	0	0
		②	活動指標イ	単位	目標値	2	2	2	2	0
			県地域リーダー育成研修参加者数	人	実績値	0	2	0	0	0
		③	対象指標ア	単位	目標値	10	10	10	10	0
			男女共同参画社会推進審議会委員数	人	実績値	10	10	10	0	0
		④	対象指標イ	単位	目標値					
			実績値							
		⑤	成果指標ア	単位	目標値	2	2	2	2	0
			県地域リーダー育成研修参加者の活動	人	実績値	0	2	0	0	0
		⑥	成果指標イ	単位	目標値					
			実績値							
		⑦	上位成果指標ア	単位	目標値	42	43	43	0	0
			男女共同参画社会として進んでいると思う人の率	%	実績値	38.9	38	38	0	0
⑧	上位成果指標イ	単位	目標値	15	15	15	0	0		
	男女共同参画社会推進のために行動している人	%	実績値	9.6	9	9	0	0		
事業費	財源内訳	国庫支出金		千円						
		県支出金		千円						
		地方債		千円						
		その他		千円						
		一般財源		千円	423	649	407	877		
	事業費計(A)		千円	423	649	407	877			
	人件費	正規職員従業者人数		人	1	1	0	1		
		延べ業務時間数		時間	900	900	0	900		
		人件費計(B)		千円	3,600	3,600	0	3,600		
		トータルコスト(A)+(B)		千円	4,023	4,249	407	4,477		

事務事業名	男女共同参画社会推進事業	部	市民生活部	課	市民課	係	市民係
-------	--------------	---	-------	---	-----	---	-----

**評価 (Check)**

**評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価**

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 だれもが豊かで快適な生活ができる社会をつくる。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 男女共同参画社会基本法に取り組みなければいけない地方公共団体の責務として定義されている
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 全市民を対象とするべき。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 今後、更なる啓発活動が必要。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 基本的人権が守られない恐れがある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 類似する事業はないが、NPOやまちづくり関係の事業と連携できるのではないかと考える。
		<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 今後、事業内容をさらに充実させていく必要があり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 今後、事業内容をさらに充実させていく必要があり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者負担はない。

**評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）**

全体総括（振り返り、反省点）

今後、更なる啓発活動の充実と、第3次男女共同参画推進計画の周知、進捗管理が必要である。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
類似する事業はないが、NPOやまちづくり関係の事業と連携できるのではないかと考える。			削減	維持	増加
向上	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
低下	<input type="checkbox"/>				

**改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策**

今後さらに、人権及び男女共同参画事業内容が多岐にわたることが考えられるため、男女共同参画係（室）等の設置が必要であると考えます。